

● ホームページの「授業ガイド＜履修登録について＞の動画」を必ず視聴し、学生便覧および本資料を確認して時間割を作成しましょう。

● 4月19日(土)13:00～16:30 に機械システム工学科オリエンテーションがあります。必ず参加できるように予定しておいてください。

1. 機械システム工学科固有科目について(学生便覧 P.6-7)

「工学部機械システム工学科固有科目」とは、機械システム工学科生のために開講される専門科目です。以下表の中から、履修する科目を選択し、卒業までに必要な単位を計画的に修得する必要があります。必要な科目には一定のルールがあります。以下内容を確認し、よく理解しましょう。

- 1年生が履修できる科目は1年の列に表示されている科目のみ(上級生は下級生の科目を履修可能)
- 卒業に必要な学部固有科目単位数は **90単位**(内訳:必修56単位+選択必修8単位+選択26単位)
- 必修科目は卒業までに必ず合格して単位を修得する必要がある。不合格となった場合は翌年再履修する必要がある。
- 選択必修科目から8単位、選択科目から26単位を選択し、卒業までに必ず修得する必要がある。
- 選択必修科目の必要単位数を超えて修得した単位は、選択科目の26単位にカウントできる。
- 学部固有科目の他に、全学共通科目34単位を修得する必要がある。 ※学生便覧 P.2-5 参照

必修科目

(科目名の左に◎マーク)

卒業までに必ず56単位
修得する必要がある

選択科目

卒業までに
26単位選択して
修得する必要がある

選択必修科目

(科目名の左に○マーク)

卒業までに8単位選択して
修得する必要がある

選択必修科目の必要単位数(8単位)を超えて修得した単位は、「選択科目」の単位としてカウントできる。

(例)選択必修科目を10単位修得した場合

⇒選択必修単位:8単位
選択単位:2単位

	1 年				2 年				3 年				4 年				卒業 要件 (50単位)
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター		
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
基礎科目 必修 56単位	○新 規 学 1 (2)		○新 規 学 2 (2)														
	○線形代数学 (2)		○幾 何 学 (2)														
	○線形代数学演習 (2)																
	○基 礎 数 学 (2)																
専門基礎科目 必修 26単位	○キャリアデザイン (2)				●機械加工実習 (2)		●機械加工実習 (2)		キャリア・マネジメント1 (2)		キャリア・マネジメント2 (2)						
									インターンシップ (2)								
	海外セミナー1 (2)																
		海外セミナー2 (2)															
専門科目 必修 26単位	○コンピュータリテラシ (2)						○技術英語 1 (2)		技術英語 2 (2)		○技術英語演習 (2)						
	○工学基礎実習A (2)		○工学基礎実習B (2)		○機械設計製作法 (4)		○プロジェクト研究入門 (2)		○プロジェクト研究基礎演習 (2)		○プロジェクト研究応用演習 (2)		○卒業研究 1 (3)		○卒業研究 2 (3)		
	○電気・電子・ディジタル回路 (2)		○機械力学基礎 (2)		○機械力学基礎演習 (2)				材 科 工 学 (2)		電						
			○機械力学基礎演習 (2)		○機械力学基礎演習 (2)												
専門科目 選択 26単位	○Cプログラミング (2)		○計 画 制 御プログラミング (2)		データサイエンスA (2)		データサイエンスB (2)										
		○Cプログラミング (2)			データサイエンスA (2)		データサイエンスB (2)										
							新 規 工 学 (2)		電	機械システム特別講義 A (2)		電					
専門科目 選択 26単位			○画像センシング工学 (2)		○画像ロボティクス (2)		○ロボットプログラミング (2)										
					○シミュレーション (2)												
							ニューロインフォマティクス (2)		電	最適化工学 (2)		電	技術英語演習 (2)		電	機械システム特別講義 B (2)	
							○生体システム演習 (2)		電	システムシミュレーション (2)		電					
専門科目 選択 26単位									ディジタル信号処理 (2)				画像信号計画・処理 (2)		システム制御工学 (2)		
													画像信号計画・処理演習 (2)				
													機械学習演習 (2)		電		
自由科目 26単位	●機械システム工学基礎A (2)		●機械システム工学基礎B (2)														

必修56単位
選択必修8単位
選択26単位

2. 時間割作成のポイント

大学の時間割は自分で作成する必要があります。以下手順に沿って、自分の時間割を作成しましょう。
学生便覧 P.7 の各履修モデルも参考にしてください。

1 年生春学期に履修登録できる最大単位数は、スポーツ科目を履修した場合、25 単位です。

	月	火	水	木	金
1 限	◎電気・電子・ディジタル回路 (2)		▲スポーツ実技 (1)		
2 限	★基礎数学 (2)	▲第二外国語基礎A (1)	▲全学共通科目 (2)	◎C プログラミング1 (2)	▲インターミディエイト英語コミュニケーションA (1)
3 限	◎コンピュータ・リテラシ(2)	◎線形代数学 (2)	◎キャリアデザイン (2)	◎解析学1 (2)	◎工学基礎実験A (体験・シミュレーション) ※2 限連続科目(2)
4 限	▲インターミディエイト英語リーディングA (1)	◎線形代数学演習 (2)		▲第二外国語基礎 B (1)	
5 限					☆機械システム工学基礎 A

※機械システム工学基礎 A は自動登録済(自由科目のため、履修登録制限単位数(最大 26 単位)に関係しません)

①学部固有の必修科目(◎)8 科目 16 単位を登録

上記表の◎印の科目は全科目必ず今回の履修登録で登録してください。

②全学共通科目(▲)を登録

■英語コミュニケーションAおよび英語リーディングAを 1 科目ずつ選択して履修登録 2 単位

・英語のレベル分けについては学生便覧 P.4 参照

・次に各教員の授業内容をシラバスで確認し、履修するクラスを選択 ※履修可能な時限は時間割表で確認

■第二外国語基礎 A・B は希望した言語を自動登録済 2 単位

※第二外国語 A・B は「通年科目」のため1年を通じて授業を行います。

(1 年を通じて授業を行う「通年科目」は、単位数を 2 で割った数を、各セメスターの履修登録単位数としてカウントします)

■スポーツ実技科目を登録 1 単位

スポーツ実技科目は 1 年生の内に履修するのが望ましいです。上記表は、水曜 1 限に登録した例ですが、他にも履修できる時限があるので、時間割表で確認してください。

■スポーツ・健康(実技を除く)/自然の探求/人間の探求/社会の探求/複合領域の中から 1 科目登録 2 単位

・各科目については、学生便覧 P.2 参照

※スポーツ・健康(実技を除く)は最低2単位、自然/人間/社会の探求・複合領域は各領域で最低4単位を卒業までに修得する必要があるため、早めの履修を推奨。

③残りの時間に学部固有の選択科目(★)を登録 2 単位

■「プレイスメント・テスト」の結果、履修を勧められた場合は、「基礎数学」(月曜 2 限)を必ず登録

プレイスメント・テストの結果は、「CHUKYO ALBO」のお知らせで連絡します。

上記のとおり履修登録した場合、履修登録単位数は計「25 単位」になります。

学部固有必修科目(8 科目 16 単位) + 英語リーディング A(1単位) + 英語コミュニケーション A(1単位) +

第二外国語 A(1単位) + 第二外国語 B(1単位) + スポーツ(1単位) + 選択科目[基礎数学 or 全学共通](4 単位) = 25 単位

3. 機械システム工学科固有科目 注意事項(学生便覧 P.8-9)

学部固有科目には、履修するうえで特有のルールが定められているものがあります。
2 年生以上から関係するルールもありますが、卒業に関わる重要な内容が記載されています。
履修登録は曖昧なまま放置せず、必ず学生便覧を確認し、不明点は教務センターに相談してください。

時間割を作成してみましょう！

履修計画表:春学期

時限	項目	月	火	水	木	金
1 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
2 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
3 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
4 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
5 限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
集中講義	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

履修計画チェック表

項目	チェック
学部固有科目の必修科目(◎)のうち、1 年次の春学期に履修できる科目(8 科目)を全ていれましたか？	☐
全学共通科目の英語科目は、「●●英語リーディング A」と「●●英語コミュニケーション A」をそれぞれ 1 つずついれましたか？	☐
全学共通科目のスポーツ実技科目を 1 科目、いれましたか？	☐
全学共通科目の第二外国語科目を各 1 単位(「●●語基礎A」で 1 単位、「●●語基礎B」で 1 単位)で計算した上で、履修登録制限単位の 26 単位以下ですか？	☐
履修計画表に入力したとおり、CHUKYO ALBO の履修登録を行いましたか？	☐

4. 工学部 進級要件と卒業要件

工学部では、学年終了時に進級要件を満たしていない場合、留年となります。

進級要件、卒業要件は学科によって異なります。必ず自分の所属する学科の要件を確認して、毎学期の履修計画を立ててください。

1 進級要件と卒業要件

問合せ先 教務センター

進級要件及び卒業要件は、それぞれに示す条件を満たす必要があります。なお、在学期間に休学は含みません。

進級要件

工学部では、各学年において進級判定を行います。進級要件を満たさなかった場合は、その学年において留年となります。要件の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

進級判定は、各学年の秋学期終了時に行います。留年後、次年度春学期で進級要件を充足しても進級判定は上記時期にて行います。

- ① 進級判定結果は、3月上旬にCHUKYO ALBOで発表します。
- ② 留年になった学生については、3月中旬に文書を以って、その旨を保証人宛に通知します。
- ③ 本学に仮進級という制度はありません。

次の条件をどちらも満たしている場合、次年度春学期に進級します。秋学期に進級することはありません。

■ 在学期間に関する条件

各年次2セメスター以上の在学が必要です。

■ 学業に関する条件

進級に必要な単位は、下表の通りです。

1. 機械システム工学科

学年	進級要件
2年	1年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を22単位以上修得していること
3年	2年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を38単位以上修得していること
4年	3年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を44単位以上修得しており、かつ「プロジェクト研究基礎演習」と「プロジェクト研究応用演習」の単位を修得していること

2. 電気電子工学科

学年	進級要件
2年	1年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を12単位以上修得していること
3年	2年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を32単位以上修得していること
4年	3年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を36単位以上修得しており、かつ「電気電子工学実験2」の単位を修得していること

3. 情報工学科

卒業要件

次の条件をどちらも満たしている場合、卒業します。

■ 在学期間に関する条件

通算4年間(8セメスター)以上在学し、かつ4年次に2セメスター以上の在学が必要です。

■ 学業に関する条件

卒業に必要な単位は、下表の通りです。履修登録や修得単位の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

1. 機械システム工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	56単位
	選択必修	8単位
	選 択	26単位
	小 計	90単位
総 計		124単位

2. 電気電子工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	54単位
	選択必修	14単位
	選 択	22単位
	小 計	90単位
総 計		124単位

3. 情報工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	42単位
	選 択	48単位
	小 計	90単位
総 計		124単位

4. メディア工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位

履修に関する FAQ(よくある質問)

≪時間割を組むこと全般についての質問≫

Q 「時間割」をどのように組めばいいかわかりません。

「時間割作成のポイント」の手順で組んでください。

《履修登録例》の通り時間割を組み立てる場合、皆さんが選択する必要のある科目は以下の3つです。

- ①英語リーディング A・英語コミュニケーション A 各 1 科目（便覧 4 ページ参照）
- ②スポーツ実技科目 1 科目
- ③選択科目（「基礎数学」or「全学共通」）4 科目

科目内容は「シラバス」を、科目の開講時限は「時間割表」を確認し、科目を選択してください。

併せて大学ホームページ掲載「授業ガイド」動画を見てください。

Q 「単位」とは何ですか。

履修した授業に出席し、一定以上の成績を修めると、その証明として学校から与えられるものです。

単位は数で表され、便覧（P.2,6）の科目名の後ろにあるカッコの中の数字が、その科目を合格した際に修得できる単位数を表します。工学部を卒業するために必要な単位数は、「124 単位」です。4 年間を通じて必要な科目を履修し合格することで単位を取得し、卒業までに 124 単位を修得する必要があります。

Q 何単位分履修登録をしたらいいですか。

履修登録制限単位数内であれば、履修登録する単位数は自由ですが、4 年間で余裕も持って卒業できるよう、**可能な限り多くの単位を履修することを推奨します**。春学期に履修登録できる単位の上限（履修登録制限単位）は「26」単位です（便覧 1 ページ）。例年多くの先輩は上限まで履修登録をしています。

Q 英語基礎科目クラスの選択ですが、自分のレベルがわかりません。

便覧 XX ページの「受講対象者のレベルと到達目標」の表を参照してください。ベーシックのクラスは再履修者専用クラスのため、1 年生は選択できません。なお、コミュニケーションとリーディングはレベルが異なっても構いません。

Q 英語基礎科目のアドバンストクラスを履修したいのですが、時間割表から見つけれません。

アドバンストクラスは、**インターミディエイト・エレメンタリークラスとは別の曜日時限で開講されています**ので、時間割表をよく確認してください。

Q A 先生の「倫理学 A」と B 先生の「倫理学 A」を同時に履修できますか。

同じ名称の科目を同時に履修することはできません。また一度履修をして合格した科目は、教員が違って再度履修することはできません。

Q スポーツ科目を1セメスターに2科目履修登録することはできますか。

各セメスターに履修登録できるのは、**1科目のみです**（シーズンスポーツを除く）。 便覧3ページ参照

Q オンライン（遠隔）授業は時間割表に記載の曜日時限に必ず受講しなければなりませんか。
それとも何日か閲覧期間がありますか。

授業形態および教員により異なります。シラバスにて確認してください。

※オンライン（遠隔）授業形態

リアルタイム型：授業時間割に記載されている曜日・時限で同時双方向にて行う授業形態。

オンデマンド型：リアルタイム以外のインターネット配信を利用した方式で行う授業形態。

CHUKYO MaNaBo を通じて授業担当教員から、講義資料が提示され資料を参照して
履修者は学修を進め、課題レポートの作成、提出を行う方法。

Q 今回の履修登録で全学共通科目は、各科目群から均等に履修しなければいけないですか。
(例) 4科目履修する場合、自然：1科目 人間：1科目 社会：1科目 複合領域：1科目

1年生春学期の履修登録では、どの科目群から履修しても構いません。

ただし、各科目群の最低単位数4単位は、早めに修得することが望ましいです。

また、各科目群で4単位を超えて修得した単位は、選択科目（4単位）の単位としてカウントされます。

《履修登録についての質問》

Q

シラバスに掲載されているが、履修登録画面で表示されない科目があります。履修登録画面に表示されている科目のみ申請できるのでしょうか。

時間割表および履修登録画面に表示されている科目のみ履修申請することが可能です。

例えば、第二外国語科目は、1年生は時間割記載（学部ごとに指定）の曜日時限のみ履修することが可能ですが、再履修生（上級生）は、その他曜日時限を履修することが可能です。シラバスでは、再履修生（上級生）用に新入生が履修できない曜日時限のクラスも表示される仕様となっております。その他、クラス指定や履修条件等で一部シラバスに記載されているが、履修登録画面に表示されない科目があるかもしれません。履修登録画面に表示される科目が現在履修申請できる科目となりますので、履修登録画面および時間割表にてご確認ください。

Q

第二外国語が希望の言語ではありません。どうしたらいいですか。

各言語には教育の質を担保するために、定員が設定されています。現在表示されている第二外国語については、厳選な抽選を行った結果によるものです。**変更することはできません。**
卒業に必ず必要な科目となりますので、現在登録されている言語で受講し修得をしてください。

Q

【二次登録・履修修正期間】履修申請で抽選漏れとなった「英語基礎科目」のクラスが、履修申請画面で「定員残り●名」と表示されています。定員に空きがあるのでしょうか。

上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

英語基礎科目については、1年生定員と上級生定員をそれぞれ設定しています。「空きあり」と表示されている場合でも、上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

落選した科目については、二次履修登録で履修登録しても再度落選してしまう可能性が高いため、別のコマ（レベルを変更するなど）で履修登録をすることをお勧めします。

また、二次履修登録の抽選でも落選した場合は履修修正期間に再度履修登録してください。

Q

【履修修正期間】二次抽選で落選した科目があった場合どうしたらいいですか。

また、履修が確定した科目を修正して、新しい科目を履修登録することはできますか。

二次抽選で落選した場合、4/5～の履修登録修正期間に追加登録を行ってください。

また、確定した科目についても修正することが可能です。履修登録修正期間で申請した科目は、先着順で、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。

Q

履修登録した科目が CHUKYO MaNaBo に反映されません。

CHUKYO MaNaBo に履修科目が表示されるのは、次のタイミングです。

- ・一次申込期間（～4/3）申請し、当選した科目 → 4/6の朝6時から反映されます。
- ・二次申込期間（4/4）申請し、当選した科目 → 4/6の朝6時から反映されます。
- ・履修修正期間（4/5～4/11）に追加した科目 → 登録した**翌日の朝6時**から反映されます。